



こうほう でんごんばん

1月の納税

- ・固定資産税……………第4期
- ・国保税……………第10期
- ・国民年金……………第5期
- ・保育料……………1月分

新潟県史刊行のご案内

— 予約募集中 —

立県 100年の記念事業として、編さんを進めている「新潟県史」は昨年度に続いて62年3月に4巻が刊行されます。

○今回刊行巻の頒布価格

- ・通史編2 中世 3,600円
- ・ " 3 近世I 3,600円
- ・ " 6 近代I 3,600円
- ・別編3 人物編 4,800円

○申込先

〒950 新潟市新光町4-1
新潟県総務部県史編さん室
☎0252(85)5511 内線2101

○申込方法

官製はがきに住所、氏名、購入巻名、冊数、公私用別、電話番号を明記して申込みを。

建設工事入札参加資格審査申請は早目に!

毎年のことではありますが、町が執行する建設工事の入札参加資格審査申請の時期が迫っておりますので、事前に準備を進められるようお願いいたします。なお、提出にあたっては次の点にご留意ください。

記

1. 受付期間……………2月1日から2月末日まで
2. 提出先……………小国町役場総務課
3. 申請書の様式……………新潟県様式に準ずる
4. 有効期間……………1年間
5. 留意事項

- (1) 職員数(第5号様式)には、個人事業主及び労務者は除くこと。
- (2) 技術職員数(第5号様式)は建設業法第7条による有資格者の数を記入すること。
- (3) 経営事項審査申請書には必ず、所轄土木事務所長の「提出済日附印」を要すること。
- (4) 添付書類=建設業許可証明書・建設業退職金共済事業加入履行証明願又は、未加入申立書・経営事項計算票
※町内事業者は納税証明書の添付を省略します。
- (5) 内容は正確を期すること。

年末年始の休日診療

●休日診療(☎午前9時~正午)

- 12月29日(月) 成人健康センター(法坂)
- 30日(火) 成人健康センター(法坂)
- 31日(水) 成人健康センター(法坂)
- 1月1日(木) 上小国診(原)
- 2日(金) 上小国診(原)
- 3日(土) 上小国診(原)
- 4日(日) 成人健康センター(法坂)
- 11日(日) 上小国診(原)
- 18日(日) 成人健康センター(法坂)



新春囲碁将棋 大会のご案内

- ◎日時……………1月18日(日)
午前9時~午後4時
- ◎会場……………就業改善センター
- ◎参加料…500円
(ただし、小・中・高校生無料)
- ◎賞品、昼食用意してあります。
- ◎申込みは、1月10日(土)までに教委へ。(☎95-3111)
- ◆囲碁の部
 - ・Aグループ(有段者クラス)
 - ・Bグループ(無段者クラス)
- ◆将棋の部
 - ・Aグループ(高校生・一般)
 - ・Bグループ(小・中学生)

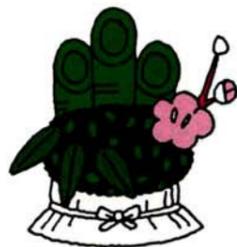
1日1円の安い会費で見舞金は最高100万円

交通災害共済に家族そろって加入しましょう。会費は1人1年間350円。見舞金は2万円~100万円まで、その治療日数によって支払われます。現在、町民の8割以上の方々が加入しており、61年度中に事故にあわれて見舞金の給付を

うけた方は16人、総計182万円が支払われています。

加入したい方、事故にあわれた方はご相談ください。

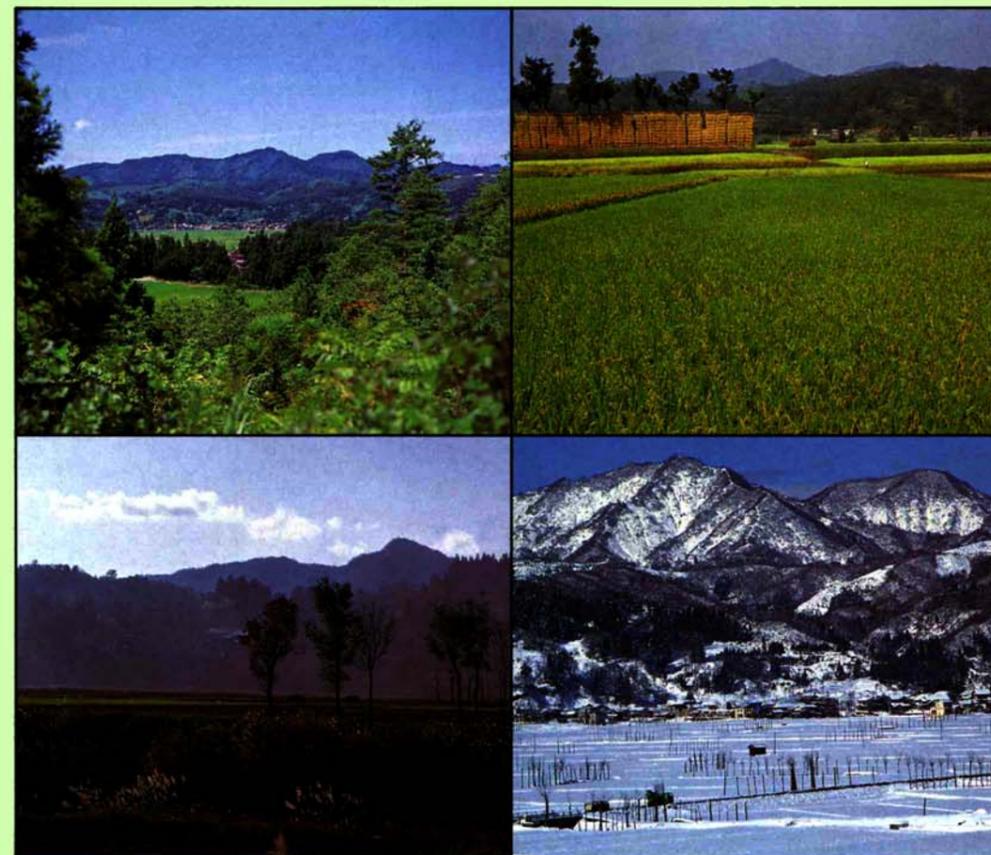
役場総務課 ☎95-3111
※治療日数の7日未満のものや、違反等があったものは支払われない場合もあります。



1987 広報おぐに



あけましておめでとござります。



四季の八石山

として保存しましょう

印刷 小千谷市 位下印刷
発行 小国町役場

新潟県小国町
広報 おぐに

昭和62年 1/1
No. 213

明けましておめでとうございます

小国町長 牧野 功平



謹んで初春のお慶びを申し上げます。

町政につきましては、平素から温いご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

昨年は年明けより厳しい寒波に襲われ、ついに3年続きの豪雪となりました。国の四全総や県の重点施策にも克雪対策が取り込まれその認識も深まってきました。

当町も総合的な克雪対策をより図り、雪に強い町づくりを推進して参りたいと存じます。

内外では政治経済ともに、激しい変容をみせた年でした。

貿易不均衡による国際間の経済摩擦、東西間の緊張や南北間の格差。国内では、円高不況のなか衆・参同日選挙が行われ、新内閣が発足しました。

国鉄の民営化、税制の抜本的改正、水田農業対策等は新しい年への大きな課題でもあります。

このような中で当町は、町制施行三十周年に当り、町民各位の

協力のもと各種記念行事を実施。統合校浜海小学校に新しい校風が生れ、待望の国道2線は全線開通。立教大学野球部の合宿は都市との交流に歩をいたしました。

加えて、第1回農村アメニティ全国コンクールで優良賞を受賞など、いずれも町民各位のご支援によるものと厚くお礼申し上げます。

反面、円高不況で町内関連企業も大きな影響を受け、経営の縮小と雇用不安が顕在化してきました。

また、年末には水田農業確立対策いわゆるポスト三期の転作等目標面積が配分され、この対応には農家各位をはじめ農業関係団体と十分協議して参ります。

膨大な国債費と財源不足に苦慮する政府は、負担をより強く地方へ転嫁する内容の新年度予算を編成。主な財源を国県に依存する当町にも大きな影響が予測されます。

このように迎えた年も厳しい環境にありますが、最小の経費で最大の効果を挙げる行財政に務める

所存であります。

防雪事業の充実はもとより、国県諸制度の積極的導入に力点をおき、高齢化社会にふさわしい生涯福祉、生命を守る予防と医療、未来を背負う青少年の育成、時代に適応できる農林業の伸展、企業の誘致と助長で雇用促進、ふるさと型観光開発で都市との交流など総合的な整備を進めて参ります。

また、本年は懸案の統合上小国小学校の建設と農業用集落排水事業の着工を計画しています。

千古の昔から豊かな自然の恵を受けて栄えてきたふる里小国町。

この良き伝統、文化を受けた私たちは、心を寄せ合い守り育て、「光と緑と愛に満ちた小国」を次代に引き継ぎたいものです。

皆様の変わぬご教導とご叱正を念願するとともに、ご多幸とご健勝を祈念申し上げてごあいさついたします。

新年のごあいさつ

小国町議会議長 町田 仁三郎



町民の皆様、明けましておめでとうございます。

昭和62年の新春を迎えた年頭にあたり、町民各位に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平素より議会に対し深いご理解と格段のご協力を賜り、衷心より厚くお礼と感謝を申し上げます。

また、昨年中は町制施行三十周年の記念行事の数々を町民各位の総参加をいただき、ふれ合いを通じて町づくりの基本目標とする、「光と緑と愛に満ちた小国」づくりのため格別のご支援ご協力をいただき重ねてお礼を申し上げます。

慌しく過ぎ去った一年を顧みますとき、全世界の注目を集めた、平和への希望をつなぐ米首脳による軍縮交渉も暗い影を落して終りましたが、引続き東西間の緊張緩和にむけて更に世界平和を願う世論の高まりを望みたいものであります。

国際間で我が国の在り方が問わ

れた年でもあり、貿易の不均衡是正を求める諸外国の自由化攻勢により、円高不況は我が国の中小企業にとって極めて深刻に推移いたしております。

国内にあっては、戦後政治の総決算の名のもと、教育改革、税制の抜本改正、国鉄分割民営化等の山積された難題をかかえ、今後一層国民負担の増大が予測されます。

政府の「増税なき財政再建」は地方にその負担を求める方向は明らかであり、地方行財政もまた極めて厳しい状況にあります。

新しく迎えた年も、米をはじめとする農畜産物自由化要求と相俟って、水田再編のポスト三期対策は更に厳しい減反面積割り当てが強化されようとしております。

我が町の基幹産業をなす稲作を今後どのように守り、発展させるか正念場を迎えております。

高齢化社会への移行と共に、農業基盤の再整備、カントリーエレベ

ーター等の建設による生産性の高い農業確立が当面の課題であります。

今こそ地域が一体となり十分な協議を深めながら、町民すべての英知を結集し、その対応を図らなければ、再び過疎化現象に拍車をかけかねないかと存じます。

正に町民一人ひとりが、開き直り決意をもって将来の小国町を考える時ではないでしょうか。

議会も町行財政の効率的運営に心がけ、その持つ権能を最大限に生かして町民の皆さまとともに、緑豊かなふる里小国を守り、発展させるため一層の努力をいたし、その道を誤ることなく町民各位の付託にこたえる決意であります。

皆さまの益々のご多幸とご健勝を祈念するとともに、この新しい年も変わぬご支援とご協力を切にお願い申し上げます。

町功労表彰者決定

町では表彰条例により永年にわたって町のために尽くされた方々に対して、町功労者として表彰しその功績をたたえることにしています。

本年は10回目として次の方々を表彰することになりました。

表彰式は1月5日(月)の新年名刺交換会の席上行なわれます。(順不同・敬称略)

■功労表彰

- ・片桐與三九(74歳・小栗山) 社会教育並びに学術

文化の向上に尽力

- ・高橋伴蔵(76歳・柄沢) 保護司として永年尽力

- ・若井徳松(63歳・法坂) 小国農業協同組合役員として永年尽力

- ・宮川重三郎(75歳・原) 小国町農業委員会委員並びに小国町農業共済組合役員として永年尽力

- ・山岸利男(62歳・金沢) 金沢総代として永年尽力

- ・樋口領子(53歳・法坂) 町職員として永年地方自治行政に尽力

■感謝状の贈呈

- ・安沢ツヤ(81歳・武石) 公共施設等の清掃奉仕

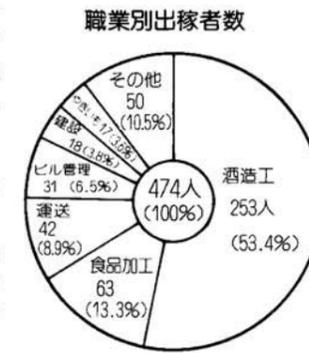
- ・佐々木セイ(51歳・新町) 愛の献血40回達成

— 出稼ぎのみなさんへ —

今年も474名が各地で活躍

年々減少しているとはいえ、今年も474名の方が出稼ぎに出発されました。来春の雪融けまでの半年間、健康には十分注意され、元気にお働きくださるようお願いいたします。

事故、問題等が発生しましたら、リーダーを中心に解決にあたりるとともに、すみやかに役場出稼ぎ担当へ連絡ください。 ☎0258-95-3111



都道府県別

出稼分布図 全体474名



ふり返る昭和61年



12月

- ★第一回農村アメニティ全国コンクールで小国町が優良賞を受賞(9日)



11月

- ★秋まつりに「お好み演芸会」を開く。林家こん平 師匠一行来町(2、3日)



10月

- ★武石トンネル開通(25日)
- ★ロマンモテイ工町から子供たちの絵と写真、旗が到着。小国からも絵等を送付(31日)
- ★小国研精舎工場閉鎖

9月

- ★双柳橋・代行道路開通式(1日)
- ★克雪小国シンポジウム開催(5日)
- ★小国中学校創立二十周年記念式典(16日)
- ★森林組合に国産材加工施設完成(24日)
- ★町制施行三十周年記念式典(21日)

歳時記

宝船

「なかきよのおのねぶりのみなめざめ、なみのりぶねのおとのよきかな」この歌は、上から読んでも、下から読んでも同じですね。こういうのを回文歌と言います。

江戸時代には、良い初夢を見るようにと、宝船の絵と、この歌を書いた紙を枕の下に置いて寝ました。

正月には宝船売りが、「お宝、お宝」と言いながら絵を売り歩きました。明治時代になってもこの風習があったそうです。

宝船には、米俵や財宝が乗っているだけのものもありますが、多くは、七福神が乗っていました。

七福神とは恵比寿、大黒天、弁財天、毘沙門天、布袋、福祿寿、寿老人をいいます。面白いのは、この顔ぶれは、神さまと仏さまがまざっていることです。

最近では宝船の絵を枕の下に置く風習はすたれましたが、正月の七福神もうでは盛んです。この時もうでる所が、神社と寺と両方まざ



好評・予約受付中

広報おぐに縮刷版予約申込みはお早目に!

「あーお父さんが載っているよ」「これ〇〇さんのお子さんじゃないかしら」……と、「広報おぐに」にはみなさんが多勢登場しています。また、町のできごとから、保育園、小学校の入学式など子供たちの成長まで見るができます。

町では今回昭和44年の創刊号から今年の210号までの広報紙をそのまま縮刷した「広報おぐに縮刷版」を発刊し、希望者に頒布することにしました。町の歩み、出来ごとが年代順に収められた貴重な

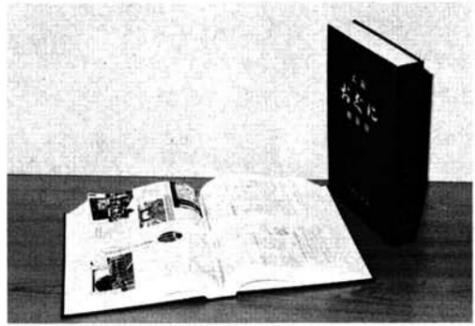
1冊の本です。みなさんにもきっと楽しんで見ていただけたらと思います。なお、今回だけの限定出版です。申込みはお早目に。

各戸に申込みチラシを回覧しています。

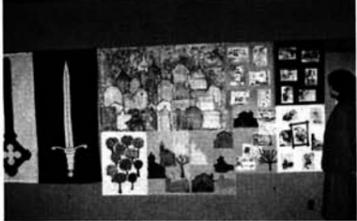
電話での申込みも受付けています。

- ・B5版(約18cm×26cm)、800ページ
- ・表紙布張り
- ・配本予定 2月
- ・頒布予定価格 7,200円

- ・申込みは、1月10日までに
- ・申込先 役場総務課庶務係 ☎95-3111



ふるさとを離れている方からも申込み続々と!

 <p>8月</p> <ul style="list-style-type: none"> ＊サマーフェスティバル(3日) ＊立教大総長・浜田陽太郎先生講演会(5日) ＊運動公園テニスコートに夜間照明施設完成(11日) ＊庁舎屋上にミュージックサイレン設置(12日) ＊農環センターに「郷土資料室」オープン(11日) 	 <p>7月</p> <ul style="list-style-type: none"> ＊森林公園にウオータースライダー完成(1日) ＊ハワイ・ウクレレバンド一行が表敬訪問(2日) ＊立教大野球部夏季キャンプに来町(3日)20日) ＊航空防除を試験的に行う(3日) 	 <p>6月</p> <ul style="list-style-type: none"> ＊「植村直巳物語」映画会(10日) ＊衆参ダブル選挙(6日) ＊「小国地域振興公社発足(26日) ＊夏の民話学校(27日)29日)
---	--	--

話 話 話

相撲の本収集

若井一正さん(法坂)



法坂の若井一正さん(60歳)は相撲が大好きで、大相撲に関する本、雑誌、力士の写真等を収集しています。

とにかく相撲大好き人間。収集した雑誌は昭和14年からの「相撲界」、「大相撲」等約844冊。力士の写真はプロマイドや自分で撮ったものなど1,000枚以上。写真はアルバムに年代順にきちんと整理され、出身地、などがメモ書きされています。他に手形や色紙、番付表、錦絵、本。古いものは、明治43年の大関三根山の記念誌、大関名寄岩からの礼状などの資料も。小学4年生の頃、「幼年クラブ」

に載っていた記事を見て興味をもち、以来収集は現在まで。

近くの町に相撲の巡業がくると必ず見に行き、帰りの汽車賃が足りなくなって途中、歩いて帰ったことも。昭和25年小国に大相撲がきたときは場内放送を担当。昭和34年には「両国」力士のことを研究論文にまとめ、サンデー毎日に発表。自分では相撲はとらなかつた。もっぱら行司役ばかり、というが青年時代の四股名は「放駒」とか。

ことしの冬には自分なりの「大相撲史」をつくってみようと、いま、取り組みを始めています。

さわやか 西村宗君



ふり返る昭和61年

広報紙から

 <p>5月</p> <ul style="list-style-type: none"> ＊柏高小国分校で交通安全宣言(2日) ＊内山監査委員急逝(6日) ＊消雪宣言日(8日) ＊東京から山菜採りツアー一行来町(11日) ＊町営野球場オープン(25日) 	 <p>4月</p> <ul style="list-style-type: none"> ＊消雪用井戸掘り届出制になる ＊統合小・浜海小学校開校(4日) ＊県知事選・君氏四選(20日) 	<p>3月</p> <ul style="list-style-type: none"> ＊中里小学校閉校(21日) ＊小国橋小学校閉校(23日) ＊町行革大綱策定 	<p>2月</p> <ul style="list-style-type: none"> ＊最高積雪三九〇センチを記録(10日) ＊町総合計画第三次基本構想議決(12日) 	<p>1月</p> <ul style="list-style-type: none"> ＊六十一豪雪、町豪雪対策本部設置(10日)
--	--	--	--	--